

mints, mints, mints !

副会長 西川 一八 (54 期)

主な担当業務：財務、会館、講堂管理、育英財団、司改センター、夏期合研、法廷、民訴、法制、会費減免、災害対策、団体保険、むつみ会 等



何を書こうかと迷いましたが、この際、懸案事項の1つであるmintsについてお話ししたいと思います。今年の5月に、改正民事訴訟法の全面施行に伴う民事裁判書類電子提出システム「mints」(ミンツ)の利用が義務化されます。従前から、準備書面等の書類提出のためにmintsは利用されていますが、現在は紙の書面での提出も認められています。しかし、5月からは、弁護士は紙の書面での書類提出はできなくなり、訴え提起の段階から、すべてデータで提出することが必要になります。

mints

私は控えめに言ってもITが得意ではありません。ただ幸い、私は副会長就任前に1件だけ、事件でmintsを利用したことがありました。準備書面や書証の提出自体は、PDFデータをドラッグして所定の箇所に落とし込むだけですので、非常に簡単であると感じました。

「重要です。ここだけ読んでください」

ここは重要な点ですが、まだmintsの登録をしていない方がいましたら、まずは登録の手続きをしてください。先般、当会のウェブサイトから、フォームを使って「とても簡単に登録の申し出をすることができる」ようになりました。これを書いているのは2025年11月ですが、先日は1日で200件近くの登録申し出がありました。

改修mints

先般、訴え提起等の申し立て機能が実装されたいわゆる改修mintsが操作できるようになりました(法施行はまだですので現実の訴え提起等はできません)。また、裁判所から、ダミーデータを用いて練習をしてよいとの連絡もありました。そこで、先日、改修mintsを使って訴え提起の練習を試みました(提出にあたっては、実事件の情報を入力しない、添付ファイルは裁判所が用意したダミーデータを使用するなどの注意事項が

ありますので、ご注意ください)。

改修mintsによる訴え提起の場面では、①当事者・代理人情報、②申立内容、③添付書類、④参考事項の4つのタブがあり、それぞれに必要な入力をするのですが、当事者・代理人情報欄の入力を終え、プレビューをしようとする、どここの項目は入力必須です、というエラーメッセージが表示されました。漏れがあったわけです。このようなことを3回ほど繰り返し、どうにか入力を終えたという次第です。ちなみに、その他のタブは、ほぼ裁判所が用意したダミーデータを貼り付けるだけでしたので楽なものでした。一応、訴え提起までの操作ができました。当事者・代理人情報さえ入力できれば訴えの提起は可能、という印象です。その入力も、慣れていないから戸惑うだけで、やることは難しくありません。その後、「あなたが行った訴え提起の申立てが完了しました」という内容虚偽の(失礼!)メールが最高裁から届きました。私はサボりましたが、ウェブサイトにある「改修mintsのトリセツ」という動画を見ながらやっていたら、失敗はほぼしないと思います。

とにもかくにも

私は、やったことがないことについては、分からない、面倒くさい、怖い、と思って、なかなか手を付けづらいつ感じます。が、一度やってみればそうでもない、ということもあります。

上記の通り、mintsの登録申請は当会ウェブサイトから簡単にできます。また、昨年12月からほぼ月に1回のペースでmintsの研修講座が開催され、これは5月の後まで続く予定です*。日々裁判所から提供される情報が更新されており、ウェブサイトやメールマガジンなどで随時お知らせをアップデートしていますので、是非ご覧いただければと思います。

この記事が掲載される時点で、上記の情報がまだ有効であることを祈りつつ。

*: <https://www.toben.or.jp/members/mints.html>